

<全体分析>

試験時間 2科目 120分

解答形式

論述, 記述

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

大問数は前年と同じ3題であった。全体のページ数は6ページ→9ページと増加し、設問数の合計も21問→33問と大幅に増加した。論述量の合計は65行→60行程度とそれほど変わらなかったが、前年は出題されなかった描図問題や計算式の記述が出題されたので、全体の分量はやや増加したといえる。また、難易度は前年並みである。

出題の特徴と昨年との変更点

論理的思考力を要求される実験考察や論述問題が出題され、論述量が非常に多い。

グラフ作成などの描図や、計算問題がよく出題される。

遺伝子などの分野の新しい内容が多い。

昨年との変更点は特になし。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔I〕	論述 記述 計算 選択	神経, 心臓 酸素解離曲線	生物基礎 ・ 生物	問14 「酸素ヘモグロビンの割合 (%)」は2通りの解釈が可能である。	標準
〔II〕	論述 記述 描図	遺伝子 「ミトコンドリアDNA」	生物	問7 バンドの太さはDNA量に比例し、塩基対数200bpのバンドと300bpのバンドで含まれるDNAの分子数が同じなので、実際には300bpのバンドよりも200bpのバンドの方が細くなる。	やや易
〔III〕	論述 記述 描図	酵素	生物	問7 (液量)「水系緩衝液」の浸透圧が不明のため、解答例以外にもいくつかの解釈・解答が考えられる。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

論述問題が非常に多いので、2～4行程度で要領よくまとめる練習をしておく必要がある。

描図やグラフ作成もよく出題されるので、教科書に出てくる重要な図をしっかりと見ておくこと。

難しい実験考察問題が多く出題される。数年分の過去問の研究をしておこう。